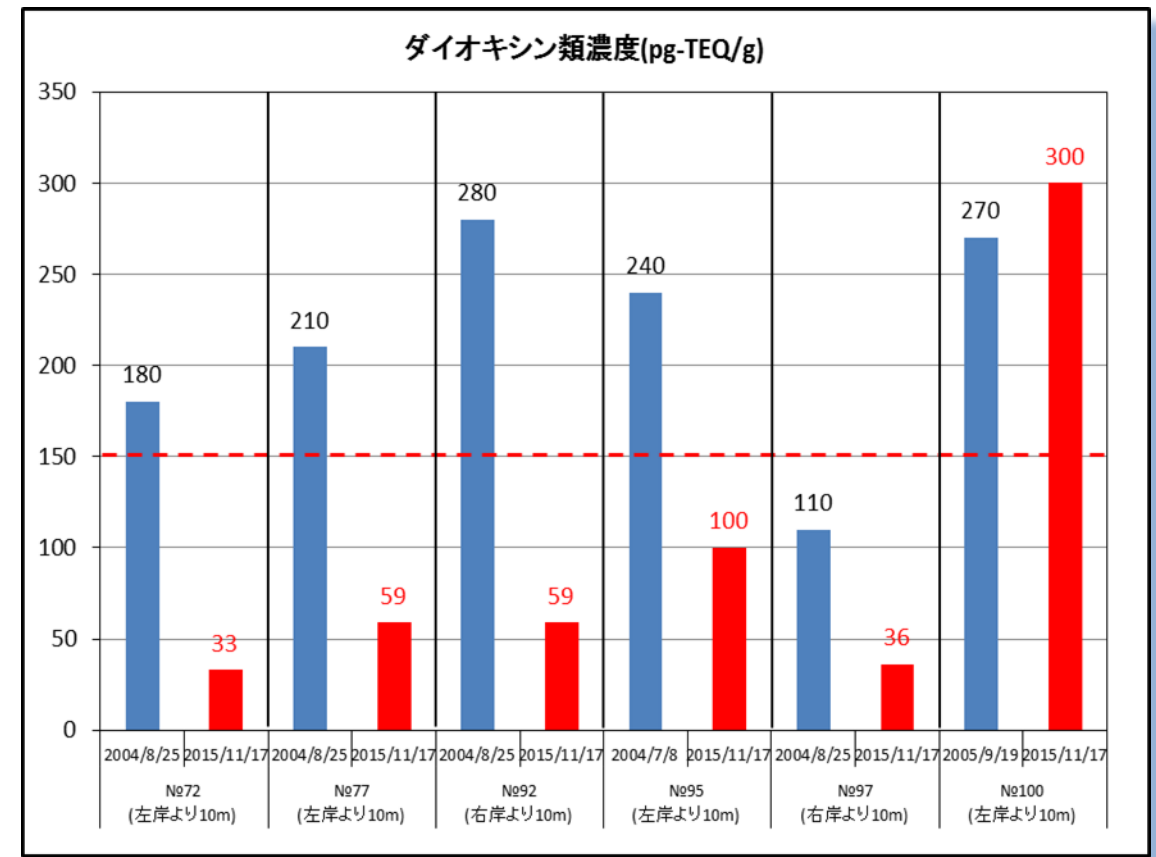
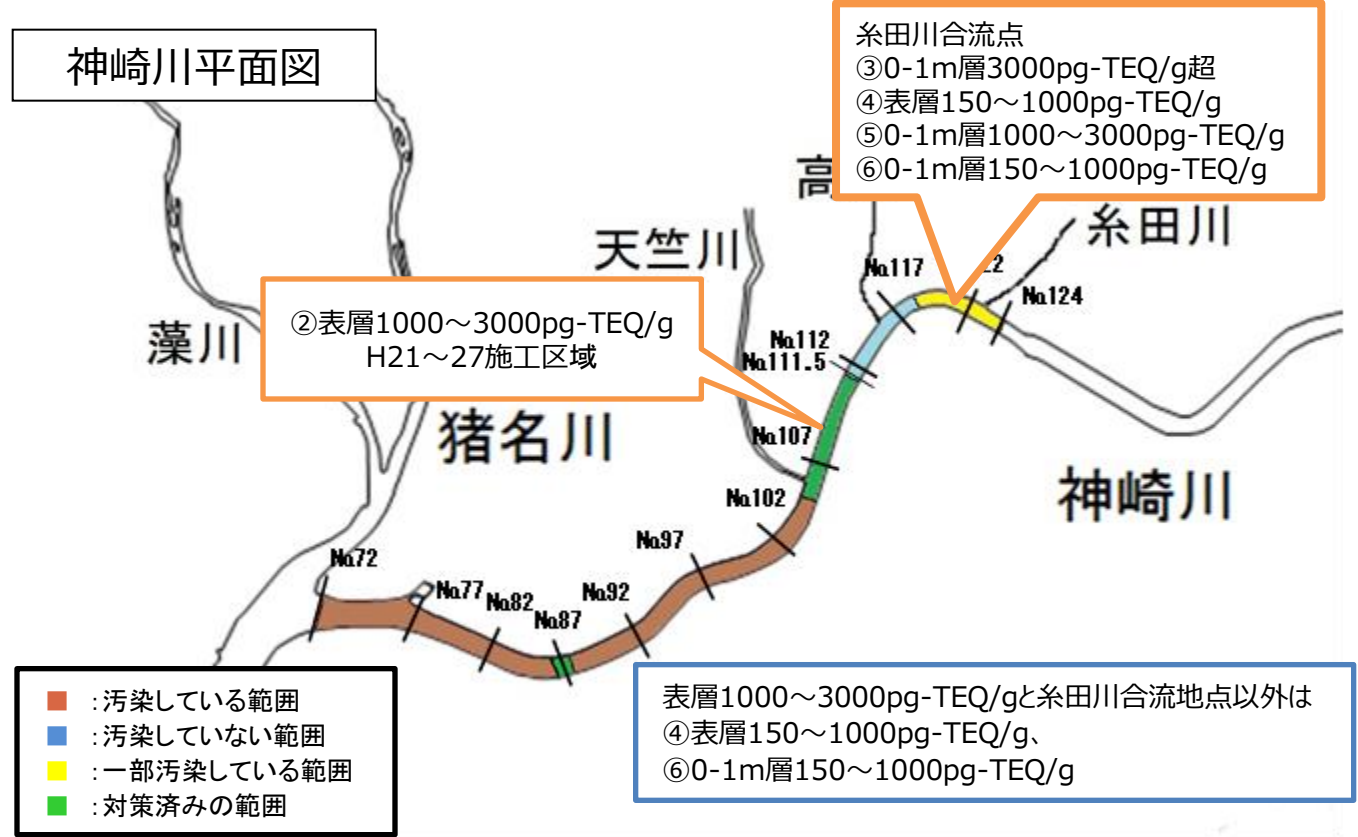


# 1. 神崎川におけるダイオキシン類汚染底質対策について

- 【平成27年度第2回底質浄化審議会までの審議の流れ】
- 神崎川においては、広範囲で底質表層におけるダイオキシン類の環境基準(150pg-TEQ/g)超過が確認(平成16～18年度)されており、平成27年度までに表層濃度が高い1,000pg-TEQ/gを超えるエリアについて、浚渫・覆砂等の対策が完了したところである。
  - 糸田川合流部左岸の表層では環境基準を下回るものの、0～1m層で3000pg-TEQ/gを超える濃度のダイオキシン類が確認されている箇所については、平成28年度において浄化浚渫(無害化处理)を実施する予定である。
  - 平成27年度に150～1000pg-TEQ/gの汚染地域について再調査を行った結果、6地点中5地点で環境基準以下であり、汚染対策必要土量の算出には現況についてより詳細な調査を実施する必要性をご指摘いただいております、今後の調査計画についてご審議いただく(今回)こととなっている。
  - 上記調査により150～1000pg-TEQ/gの汚染範囲の対策必要土量及び概算費用を算出し、さらに河床高の変動状況を調査したうえで、今後の汚染対策の優先順位を検討していくこととしている。



優先順位表

汚染濃度 (pg-TEQ/g)		150~1000	1000~3000	3000超
汚染位置	表層 (約10cm)	④ (約45万m <sup>3</sup> )	② (H27対策完了)	① (該当なし)
	0-1m層	⑥ (約45万m <sup>3</sup> 以上)	⑤ (約1万m <sup>3</sup> )	③ (940m <sup>3</sup> )

表中①～⑥は対策優先順位  
(④、⑤の優先順位については、今後の調査結果を踏まえて再検討)  
優先順位の横の数値は、H16-18の調査から概算した対策が必要な土量

H28年度において浄化浚渫(無害化处理)を実施

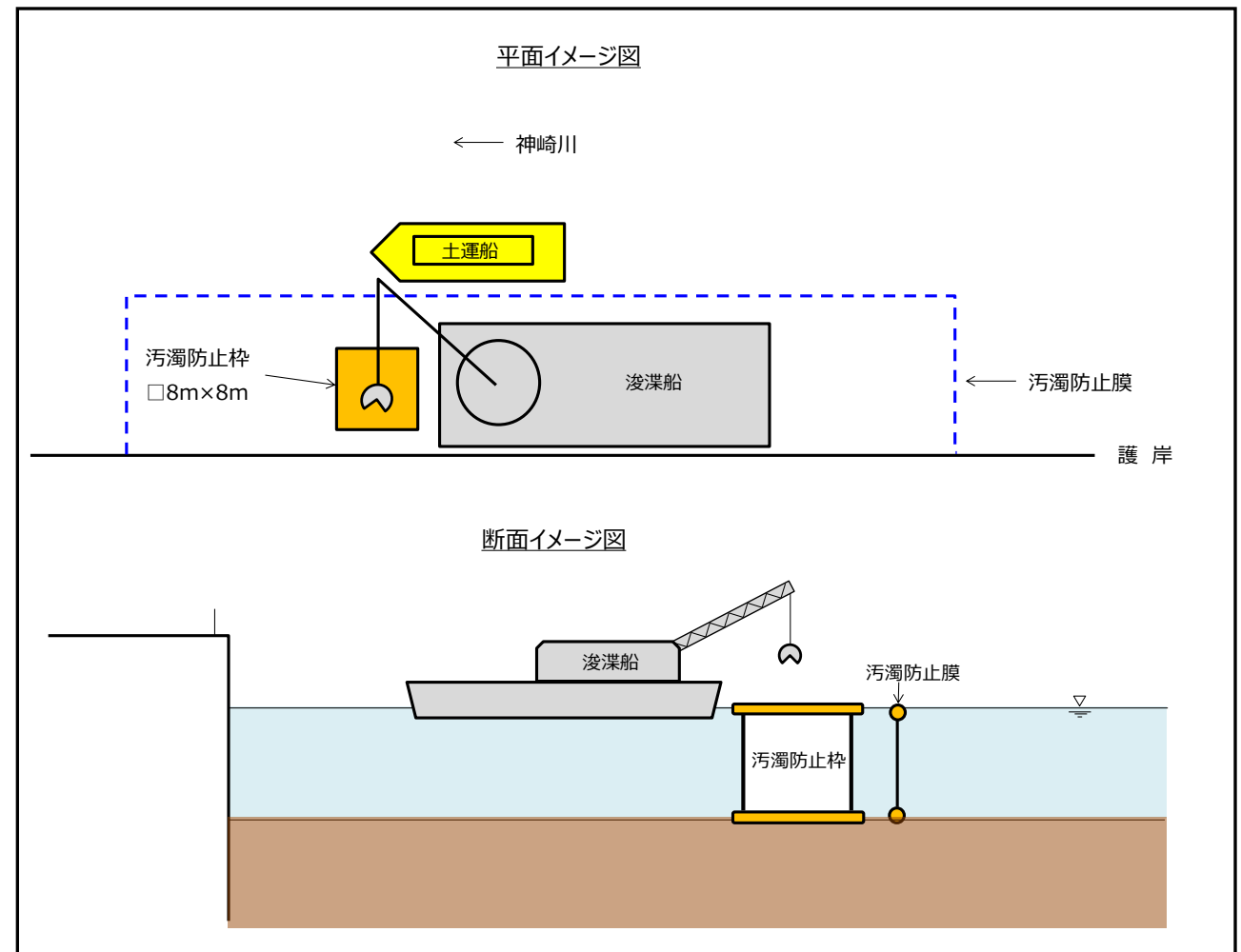
大  
↑  
汚染拡散の可能性  
↓  
小

小 ← 汚染拡散による環境への影響度 → 大

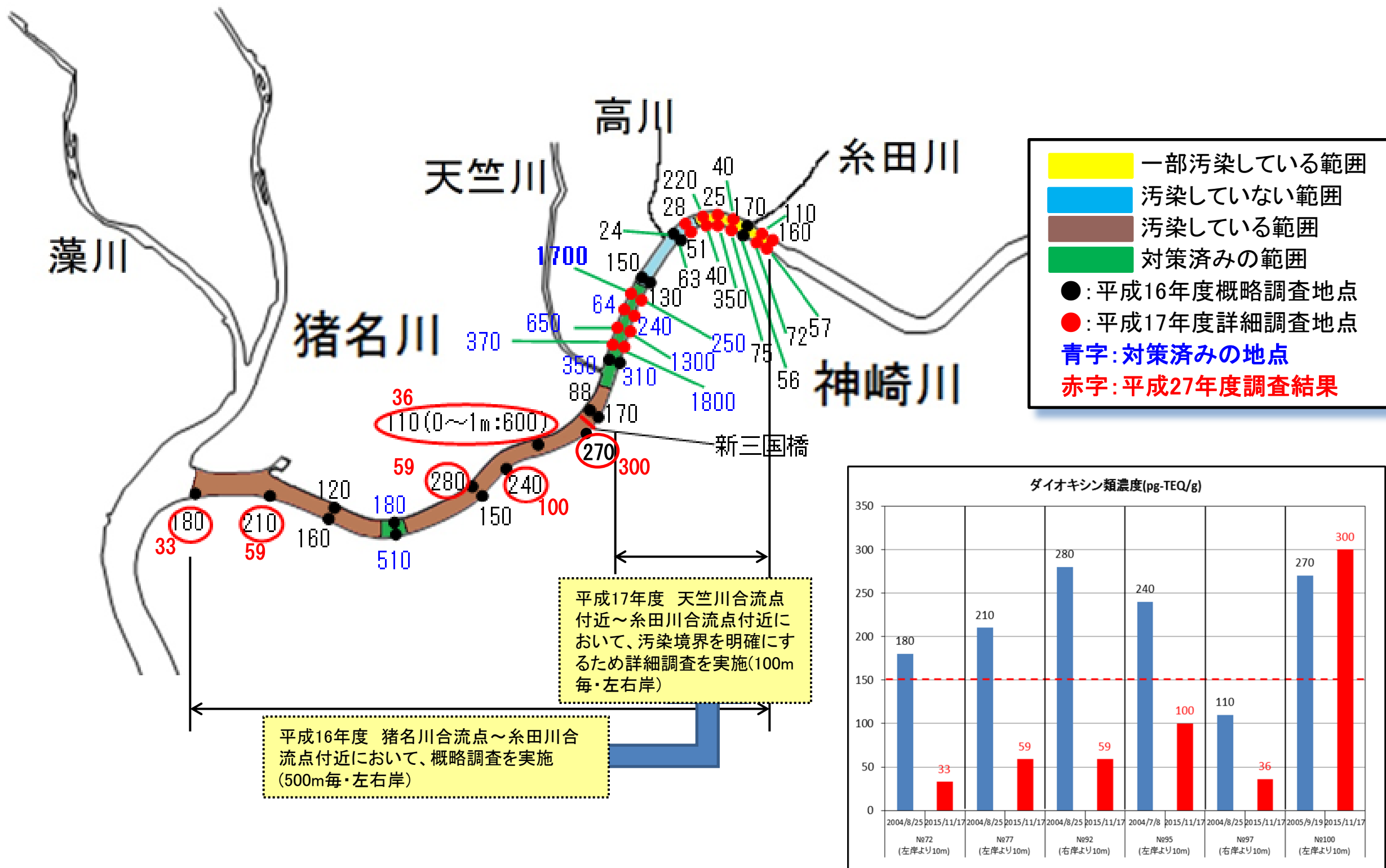
## 1.1 3000pg-TEQ/gを超える汚染底質対策について

3000pg-TEQ/gを超える濃度のダイオキシン類が確認されている箇所については、これまでの審議結果を踏まえ平成28年度において下記のとおり浄化浚渫(無害化处理)を実施する。

1. 工事実施時期 : 平成28年12月～平成29年 1月を予定(濁水期)
2. 対策土量 : 940m<sup>3</sup> (延長 56m×幅員 19.25m ×深さ 1.0m )
3. 拡散防止対策 : 通常の汚濁防止枠に加え、掘削区域を汚濁防止膜で囲いこみ、二重の拡散防止対策を実施
4. 無害化处理施設 : 関電ジオレ株式会社 (兵庫県尼崎市) [近隣で土運船による搬入が可能(積替え・余水処理不要)な唯一の施設]
5. 無害化处理の方法 : 焼却 (ロータリーキルン燃焼方式)
6. 掘削後は覆砂 (厚さ1.0m) による埋戻し (封じ込め) を行う。
7. 工事中は河川・港湾工事に係る環境対策マニュアルに従い環境監視を実施。(施工スピードを調整し、濁度監視基準順守を徹底)



## 1.2 神崎川における150~1000pg-TEQ/gの汚染範囲等の再調査について



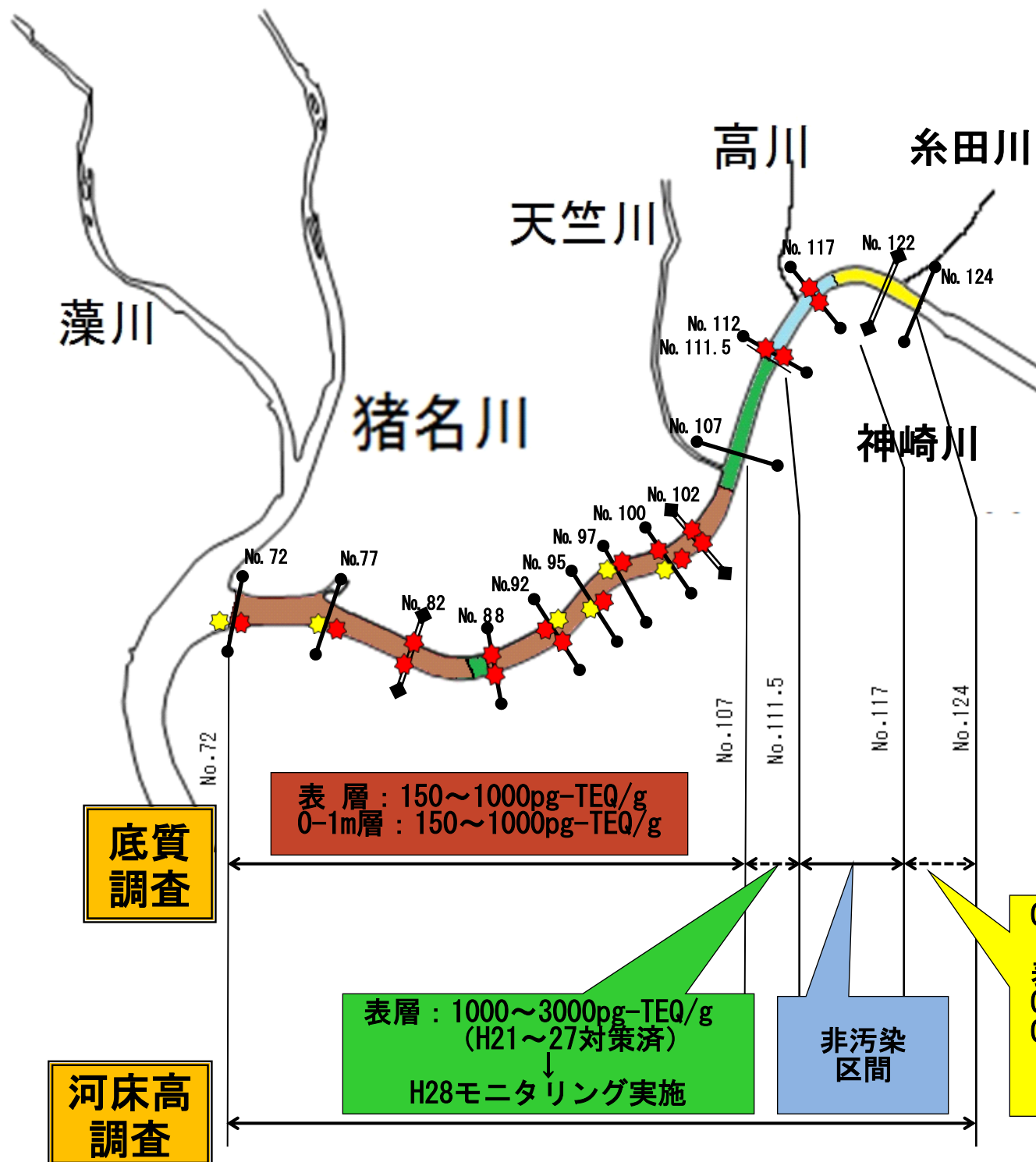
神崎川底質のダイオキシン類汚染状況



### 1.3 平成28年度の調査計画(案)について

平成27年度の調査結果から対策の必要な箇所は平成16～18年度の調査時よりも減少していると考えられ、150～1000pg-TEQ/gの汚染範囲での対策必要土量を精査するため、下記の要領で底質調査を実施したい。

また、汚染対策の優先順位を検討するに当たり、河床高の変動状況を把握しておくため、下記の要領で河床高調査を実施したい。



①調査範囲は、猪名川合流点から十八条大橋付近とする。  
 ②調査期間は、半年程度(平成28年12月～平成29年5月)を予定。  
 ③調査項目は、底質ダイオキシン類及び河床高とし以下の要領で実施する。

底質調査: 500m毎に左右岸の表層(0～0.1m)及び0～1m層のダイオキシン類濃度を調査する。(ただし、過年度の調査地点を考慮し、モニタリング実施区間及び近年の詳細調査実施区間を除いた18地点とする。)

河床高調査: 音響測深により500m毎の河床高を確認するとともに一部の測線(No.82,102,122)でレッドによる測深と比較する。調査時期は、底質試料採取時、2か月後及び4か月後の3回実施する。

- ★ H27調査地点(6点:表層)
- ★ H28調査地点(18地点:表層/0-1m層)
- H28河床高調査地点:音響測深3回(14断面)
- ◄ H28河床高調査地点:音響測深3回、レッド測深初回のみ(3断面)

表層: 150～1000pg-TEQ/g  
 0-1m層: 150～1000pg-TEQ/g

表層: 1000～3000pg-TEQ/g  
 (H21～27対策済)  
 ↓  
 H28モニタリング実施

非汚染区間

0-1m層: 3000pg-TEQ/g超  
 ⇒H28対策  
 表層: 150～1000pg-TEQ/g  
 0-1m層: 1000～3000pg-TEQ/g  
 0-1m層: 150～1000pg-TEQ/g  
 ↓  
 H28モニタリング実施

底質及び河床高調査の概要